

# コイケマ

*Cynanchum wilfordii* (Maxim.) Hook.f.  
キョウチクトウ科

【福井県カテゴリー】 新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】 ー

## 選定理由

県内でこれまで確認されている生育地は10箇所以下で、生育地、個体数とも少ない。

## 分 布

本州（関東地方以西）～九州に分布する。県内では美浜町、越前市、南越前町、坂井市、大野市で確認されている。

## 種の特徴

山地の森林の林縁や草地に生えるつる性の多年草。葉は対生し心円形で先は尖り、葉柄は3～6cm、葉腋から葉柄と同長か短い散形花序を出す。花冠は白色で5深裂する。裂片は半開で反り返らず蕾のように見える。副花冠は淡黄色。

## 生育を脅かす要因

森林伐採、道路工事等の開発により生育地の消失、また自然遷移の進行が生育地、個体数とも減少させている要因となっている。

参考文献 奥田重俊編（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
				○				○			○	○				○	

# キジョラン

*Marsdenia tomentosa* C.Morren et Decne.  
キョウチクトウ科

【福井県カテゴリー】 新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】 ー

## 選定理由

県内でこれまで確認されている生育地は2箇所、生育地、個体数とも少ない。

## 分 布

本州（関東地方以西）～九州に分布する。県内では若狭町で確認されている。

## 種の特徴

常緑広葉樹林に生える常緑のつる植物。葉は対生し、卵円形で大きく、上面は無毛で光沢がある。花期は8～9月。花は葉腋から出て、短い柄の先に散形の花序をつける。個々の花は白で、小さい。花に対して果実が大きく、楕円形で長さ13～15cm。

## 生育を脅かす要因

産地局限。自然遷移の進行が生育地、個体数とも減少させている要因となっている。

参考文献 奥田重俊編（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○																

# コカモメヅル

*Tylophora floribunda* Miq.  
キョウチクトウ科

【福井県カテゴリー】 新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】 ー

## 選定理由

県内でこれまで確認されている生育地は5箇所。生育地、生育個体数とも限られている。

## 分 布

本州～九州に分布する。県内ではおおい町、小浜市、敦賀市、あわら市、永平寺町、大野市で確認されている。

## 種の特徴

山地の草地に生えるつる性の多年生草本。茎は細長くつる状に伸びる。葉には柄があり対生、3角状の卵形～卵状披針形。夏に葉腋に短い花柄を出し、暗紫色のこまかな花をつける。

## 生育を脅かす要因

本種は草刈の行き届いたような草地に自生していることが多いが、近年放置されて自然遷移も進んでいる。

参考文献 北村四郎ほか（1964）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○			○	○				○			○			○	